

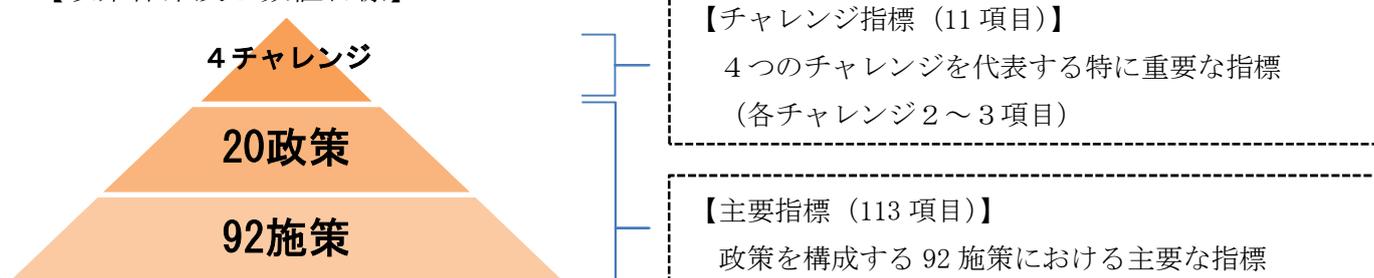
令和 2 年 1 月 2 7 日
茨 城 県

2019 年度（2018 年度分） 県総合計画（第 3 部）政策・施策に係る進捗状況について

1 政策体系と数値目標について

政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 124 項目の数値目標（チャレンジ指標 11 項目、主要指標 113 項目）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）92 施策の評価

「主要指標」の達成率から、「A」「B+」「B」「C」の 4 段階で評価します。

A	達成率 100%以上	B	達成率 50%～79%
B+	達成率 80%～99%	C	達成率 50%未満

<評価区分> 主要指標の達成率が 50%以上の項目については「B」とし、さらに、80%以上の項目については、概ね期待どおりの成果が得られたとし「B+」とする。

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。

また、複数年度ごとに更新されるなど、更新がない場合は、評価保留とするか、定性評価で評価します。

（2）20 政策の進捗状況

政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4点、B+:3点、B:2点、C:1点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階に分類します。

結果	施策評価の平均値
 順調である	4.0 点 ～ 3.0 点
 成果をあげつつある	2.99 点 ～ 2.0 点
 取組の強化が求められる	1.99 点 ～ 1.0 点

3 政策の進捗状況の結果について（総括）

（凡例）

- ・2018年度における20政策の進捗状況は、
「順調である」が8政策、
「成果をあげつつある」が10政策、
「取組の強化が求められる」が2政策 となります。

結果		施策評価の平均値
	順調である	4.0点～3.0点
	成果をあげつつある	2.99点～2.0点
	取組の強化が求められる	1.99点～1.0点

区分 (20「政策」名)	政策の 進捗状況	(参考) 92「施策」の評価結果 ※施策及び主要指標の評価結果の詳細については別添1参照					
		A	B+	B	C	評価保留	計
I 新しい豊かさ	1 質の高い雇用の創出  [平均3.7] 順調である	A 評価 (2) 成長分野等の企業の誘致、工業団地への企業立地の加速化 B+評価 (1) 産業を支える人材の育成・確保					
	2 新産業育成と中小企業等の成長  [平均2.3] 成果をあげつつある	A 評価 (1) 共存共栄できる新しい産業集積づくり B 評価 (1) 先端技術を取り入れた新産業の育成 C 評価 (1) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成					
	3 強い農林水産業  [平均1.8] 取組の強化が求められる	A 評価 (1) 水産業の成長産業化 B 評価 (2) 農業の成長産業化、未来の農業のエンジンとなる担い手づくり C 評価 (3) 林業の成長産業化、県食材の国内外への販路拡大、美しく元気な農山漁村の創生					
	4 多様な働き方  [平均2.0] 成果をあげつつある	A 評価 (1) 移住・二地域居住の推進 B 評価 (1) U I J ターンで大好きな茨城へ C 評価 (2) ワーク・ライフ・バランスの実現、女性が輝く環境づくり (評価保留 (1) 安心して就労できる環境づくり)					
	5 かけがえのない自然環境の保全・再生  [平均2.2] 成果をあげつつある	A 評価 (2) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策、持続可能なエネルギー社会の実現 C 評価 (3) 不法投棄対策と循環型社会づくり、湖沼の水質浄化、身近な自然環境の保全					
チャレンジI「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 1 ・「成果をあげつつある」 : 3 ・「取組の強化が求められる」 : 1		施策評価結果 (チャレンジ I)					
		A	B+	B	C	評価保留	計
		7 (31.9%)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	9 (40.9%)	1 (4.5%)	22 (100%)
II 新しい安心安全	6 県民の命を守る地域医療・福祉  [平均2.0] 成果をあげつつある	A 評価 (1) 医療・福祉人材確保対策 C 評価 (2) 医療提供体制・地域保健の充実、精神保健対策・自殺対策 (評価保留 (2) 医師不足緊急対策、がん対策)					
	7 健康長寿日本一  [平均3.3] 順調である	A 評価 (3) 在宅医療・介護の支援、地域包括ケアシステムの構築、認知症対策の強化 C 評価 (1) 人生百年時代を見据えた健康づくり (評価保留 (1) 高齢者の能力活用と就労支援)					
	8 障害のある人も暮らしやすい社会  [平均2.0] 成果をあげつつある	A 評価 (1) 特別支援教育等の充実 C 評価 (2) 障害者の自立と社会参加の促進、障害者の就労機会の拡大					
	9 安心して暮らせる社会  [平均3.1] 順調である	A 評価 (4) 地域公共交通の維持確保、治安対策の強化、消費生活と食の安全確保、犬猫殺処分ゼロの実現 B+評価 (1) 交通安全対策の推進 B 評価 (1) 安心して安全な上下水道の整備 C 評価 (1) 地域の力を高めるコミュニティづくり					
	10 災害に強い県土  [平均2.3] 成果をあげつつある	A 評価 (2) 災害に備えた体制づくり、治山治水対策の強化 B+評価 (1) 危機管理体制の充実 C 評価 (3) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実 危機に強いライフライン整備、原子力安全対策の徹底					
チャレンジII「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 2 ・「成果をあげつつある」 : 3 ・「取組の強化が求められる」 : -		施策評価結果 (チャレンジ II)					
		A	B+	B	C	評価保留	計
		11 (42.3%)	2 (7.7%)	1 (3.9%)	9 (34.6%)	3 (11.5%)	26 (100%)

(「政策の進捗状況の結果」 続き)

区分 (20「政策」名)		政策の 進捗状況	(参考) 92「施策」の評価結果 ※施策及び主要指標の評価結果の詳細については別添1参照					
Ⅲ 新しい 人財 育成	11 次世代を担う「人財」	 [平均1.6] 取組の強化が 求められる	A 評価 (1) 就学前教育・家庭教育の推進 B 評価 (1) 地域力を高める人財育成 C 評価 (5) 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進, 新しい 時代に求められる能力育成, キャリア教育による将来 の目標づくり, 青少年の健全育成と若者の自立を支える 社会づくり, 放課後の子どもの活動支援					
	12 魅力ある教育環境	 [平均3.3] 順調である	A 評価 (3) ICT教育先進県の実現, 時代の変化に対応した学校 づくり, 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学 連携の推進 C 評価 (1) 正しいメディアとのつきあい方					
	13 日本一, 子どもを産み 育てやすい県	 [平均2.2] 成果をあげ つつある	A 評価 (2) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり, 児童虐待 対策の推進 B 評価 (1) 安心して子どもを育てられる社会づくり C 評価 (3) 待機児童ゼロへの挑戦, 誰もが教育を受けることが できる社会づくり, 困難を抱える子どもへの支援					
	14 学び・文化・スポーツ ・遊びを楽しむ茨城	 [平均2.5] 成果をあげ つつある	A 評価 (2) 「する・見る・支える」スポーツの支援, 遊びある 楽しい生活スタイル C 評価 (2) 生涯にわたる学びのすすめ, 心豊かにする文化・ 芸術					
	15 人権を尊重し, 多様性 を認め合う社会	 [平均4.0] 順調である	A 評価 (2) 誰もが能力を発揮できる社会, いじめを生まない 社会づくり (評価保留 (2) ダイバーシティ社会へ向けて, 一人ひとりが 尊重される社会づくり					
	チャレンジⅢ「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 2 ・「成果をあげつつある」 : 2 ・「取組の強化が求められる」 : 1		施策評価結果 (チャレンジⅢ)					
		A	B+	B	C	評価保留	計	
		10 (40.0%)	— (-)	2 (8.0%)	11 (44.0%)	2 (8.0%)	25 (100%)	
Ⅳ 新しい 夢・ 希望	16 魅力度 No.1 プロジェクト	 [平均3.0] 順調である	A 評価 (2) 魅力発信国内戦略, 魅力発信グローバル戦略 B+評価 (1) 積極的なトップセールス C 評価 (1) 県民総「茨城大好き!」計画					
	17 世界に飛躍する茨城へ	 [平均2.3] 成果をあげ つつある	A 評価 (1) 世界に広がるメイドイン I BARAKI B 評価 (1) 茨城シリコンバレー構想 C 評価 (1) 活発なグローバル交流					
	18 ビジット茨城 ～新観光創生～	 [平均2.0] 成果をあげ つつある	A 評価 (1) 旺盛なインバウンドの取込み C 評価 (2) 新たな観光資源の発掘, 新茨城リゾート構想					
	19 茨城国体・障害者スポーツ 大会, 東京オリンピック・ パラリンピックの成功	 [平均3.4] 順調である	A 評価 (3) 県民総参加の機運醸成, 大規模スポーツイベントを 契機とした魅力発信, スポーツを活用した地域振興 B+評価 (1) 成功に導く環境整備 B 評価 (1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興					
	20 活力を生むインフラと 住み続けたいくなるまち	 [平均3.0] 順調である	A 評価 (2) 未来の交通ネットワークの整備, 魅力あるまちづくり B+評価 (1) 人にやさしいまちづくり C 評価 (1) 空と海のゲートウェイ機能の強化					
	チャレンジⅣ「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 3 ・「成果をあげつつある」 : 2 ・「取組の強化が求められる」 : ー		施策評価結果 (チャレンジⅣ)					
		A	B+	B	C	評価保留	計	
		9 (47.4%)	3 (15.8%)	2 (10.5%)	5 (26.3%)	— (-)	19 (100%)	
「政策」の進捗状況 (合計) ・「順調である」 : 8 ・「成果をあげつつある」 : 10 ・「取組の強化が求められる」 : 2		施策評価結果 (合計)						
		A	B+	B	C	評価保留	計	
		37 (40.2%)	6 (6.5%)	9 (9.8%)	34 (37.0%)	6 (6.5%)	92 (100%)	

4 チャレンジ指標の進捗状況について（総括）

・2018年度におけるチャレンジ指標の進捗状況については、「期待値より進捗」が2指標、「現状値より進捗」が1指標、「横ばい」が2指標、「現状値より悪化」が4指標、「評価保留」が4指標となります。

区 分	該当指標数・指標名	
期待値より進捗 	2	③生産農業所得(販売農家1戸あたり), ⑩農林水産物及び工業製品等の輸出額
現状値より進捗 	1	⑦生徒の英語力(高校)
横ばい 	2	①1人あたり県民所得(全国順位), ⑧県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差
現状値より悪化 	4	②雇用創出数(期間累計), ⑥子どものチャレンジ意欲, ⑦生徒の英語力(中学), ⑩観光消費額
評価保留 	4	④医師数, ⑤健康寿命(男), ⑤健康寿命(女), ⑨成長期待度
計	13	

※チャレンジ指標は11項目であるが、「⑤健康寿命」が男女別の数値となっており、また、「⑦生徒の英語力」が中学・高校別の数値となっていることから、13項目により整理。

※「評価保留」：指標が複数年度ごとに更新されるなど、数値の更新がない場合。

政策の進捗状況、施策及び主要指標の評価結果(2018年度)

I. 新しい豊かさ	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	過去値			現状値			実績(2018)			目標値
	区分	指標平均値					2014	2017	全国順位等	2017	2018	全国順位等	期待値	達成率	指標評価	2021
1 質の高い雇用の創出																
(1) 成長分野等の企業の誘致		3.7	A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計)	人	—	256 (2016)	—	455	—	256	178%	A	1,024 (2018~21累計)	
				2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計)	件	—	28 (2016)	—	50	—	28	179%	A	112 (2018~21累計)	
				3	県の支援により進出した外資系企業数(経年累計)	件	—	4	—	7	—	9	60%	B	22	
(2) 工業団地への企業立地の加速化		3.7	A	4	工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計)	件	43 (2018~2019) ※平均	50	4	67	3	50	134%	A	200 (2018~21累計)	
(3) 産業を支える人材の育成・確保			B+	5	産業技術短期大学校生の基本情報技術者試験の合格者数(経年累計)	人	235	317	—	344	—	345	96.4%	B+	464	
2 新産業育成と中小企業等の成長																
(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成		2.3	B	6	ベンチャー創業数(経年累計)	社	371	436	—	463	—	475	69%	B	570	
				7	生活支援ロボットの製造及び生活支援ロボットを活用したサービスを展開する企業等数(経年累計)	社	1	8	—	11	—	15	42.9%	C	24	
(2) 共存共栄できる新しい産業集積づくり		2.3	A	8	産学官連携による新製品等開発件数(経年累計)	件	31	66	—	80	—	76	140%	A	106	
(3) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成			C	9	県内事業所の開業率	%	5.2	5.9	9	4.7	8	6.0	△ 1,200%	C	6.4	
				10	県内中小企業の事業承継診断件数(経年累計)	件	—	—	—	7,117	—	1,100	647%	A	4,400	
3 強い農林水産業																
(1) 農業の成長産業化		1.8	B	11	担い手への農地集積率	%	24.5	32.8	27	34.2	27	38.3	25%	C	54.9	
				12	6次産業化関連事業の年間販売金額	億円	410.5	469.6 (2016)	16	478 (2017)	17	481 (2017)	74%	B	561.8	
(2) 未来の農業のエンジンとなる担い手づくり		1.8	B	13	新規就農者数(45歳未満)	人/年	197 (39歳未満)	328 (2016)	—	346 (2017)	—	354 (2017)	69%	B	440	
(3) 林業の成長産業化			C	14	林業産出額	億円	79	74 (2016)	21	73.4 (2017)	22	76.0 (2017)	△ 30%	C	82	
(4) 水産業の成長産業化			A	15	海面漁業1経営体あたりの漁業収入	万円	4,660 (2012~16) ※平均値	4,800 (2016)	3 (2013)	5,980 (2017)	未公表	5,090 (2017)	407%	A	6,430	
(5) 県食材の国内外への販路拡大		1.8	C	16	東京都中央卸売市場における県産青果物シェア(金額ベース)	%	9.5	10.6	1	10.0	1	10.7	△ 600%	C	11.0以上	
(6) 美しく元気な農山漁村の創生			C	17	野生鳥獣による農作物被害金額	百万円	590	580 (2016)	43	602 (2017)	45	554 (2017)	△ 84.6%	C	450以下	
4 多様な働き方																
(1) 自分らしく働くワーク・ライフ・バランスの実現		2.0	C	18	県内中小企業における年次有給休暇取得率	%	55.19	53.97 (2016)	9	52.68 (2017)	14	58.60 (2017)	△ 27.9%	C	61.00以上	
				19	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数	時間	14.5	12.8	45	12.7	46	10.4	4.2%	C	9.3以下	
(2) 女性が輝く環境づくり		2.0	C	20	政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合)	%	28.3	30.7	34	31.1	未公表	32.2	26.7%	C	35.4	
(3) U I J ターンで大好きな茨城へ			B	21	大学卒業者の県内企業等への就職率	%	32.3 (2015)	30.7 (2016)	—	31.0 (2017)	—	31.1 (2017)	75.0%	B	32.9	
(4) 移住・二地域居住の推進~茨城へ新しい人の流れを~			A	22	地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計)	人	—	10,770	—	14,886	—	14,770	102.9%	A	26,770	
(5) 安心して就労できる環境づくり		2.0	-	23	雇用者の正規雇用率	%	61.4 (2012)	61.5	28	(次回公表は2022年実績)	61.8	—	—	62.7		
5 かけがえのない自然環境の保全・再生																
(1) 湖沼の水質浄化~泳げる霞ヶ浦を目指して~		2.2	C	24	霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値)	mg/L	8.2 (2015) ※6月1日調査	7.4	西浦9位/14 常陸利根川11位/14 北浦12位/14 指定湖沼11湖沼(14水域)	7.3	未公表	—	—	—	7.4 (2020)	
				25	霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数	件/年	1,210	1,219	—	1,276	—	1,531	18%	C	1,531	
(2) 身近な自然環境の保全		2.2	C	26	大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率	%	62.5	94.4	—	94.4	—	100	0%	C	100.0	
(3) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策			A	27	本県の二酸化炭素排出量の削減	%	—	家庭: 3,812 業務: 4,421 運輸: 6,620 産業: 30,850 (2013.千t-CO2)	—	家庭: ▲15.6 業務: ▲6.8 運輸: ▲15.3 産業: ▲7.6 (2016)	—	家庭: ▲6.9 業務: ▲7.1 運輸: ▲4.9 産業: ▲1.6 (2016)	221%	A	家庭: ▲18.4 業務: ▲19.2 運輸: ▲13.2 産業: ▲4.24	
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり			C	28	1人1日あたりのごみ排出量	g/人/日	1,006	983 (2016)	36	985 (2017)	38	967 (2017)	△ 12.5%	C	905以下	
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現		2.2	A	29	水素ステーションの施設数(経年累計)	施設	0	2	15	2	15	2	100%	A	4	

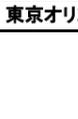
※2018年度の実績数値は、概ね2019年8月までに公表された数値を掲示

II. 新しい安心安全	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	過去値	現状値		実績(2018)			目標値				
	区分	指標平均値					2014	2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	指標評価	2021			
6 県民の命を守る地域医療・福祉																	
(1) 医師不足緊急対策	 成果をあげつつある	2.0	-	30	医師数	人	5,188	5,513 (2016)	46 (10万人あたり)	— (未公表)	5,745	—	—	6,160			
(2) 医療・福祉人材確保対策			A		31	就業看護職員数(常勤換算)	人	26,795	26,713 (2016)	42 (10万人あたり)	— (未公表)	29,395	—	—	30,044 (2019)		
					32	介護職員数	人	32,586 (2012)	34,959 (2016)	—	36,866 (2017)	—	36,702 (2017)	109.4%	A	43,122	
(3) 医療提供体制・地域保健の充実			C		33	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	41.1	42.7 (2016)	40	42.9 (2017)	41	39.3 (2017)	△ 5.9%	C	全国平均以下	
(4) がん対策			-			34	がん検診受診率	%	41.4 (2013)	44.9 (2016)	22	— (次回公表は2019年実績)		50.0	—	—	50.0
(5) 精神保健対策・自殺対策	C			35	自殺者数(人口10万人あたり)	人	19.7	17.1 (2016)	26	17.8 (2017)	13	16.9 (2017)	△ 350%	C	16.2以下 (2020)		
7 健康長寿日本一																	
(1) 在宅医療・介護の支援	 順調である	3.3	A	36	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	—	360 (2015)	36 (10万人あたり)	381 (2016)	45	373 (2016)	161.5%	A	414 (2020)		
(2) 地域包括ケアシステムの構築			A		37	多職種参画による地域ケア会議開催市町村数	市町村	7 (2016)	13	—	26	—	21	162.5%	A	44	
(3) 認知症対策の強化			A		38	認知症サポーター養成人数(経年累計)	人	20,756	201,567	37 (総人口に占める割合)	238,828	35	228,000	141.0%	A	284,300 (2020)	
(4) 高齢者の能力活用と就労支援			-			39	高齢者有業率	%	30.9 (2012)	38.2	30	— (次回公表は2022年実績)		38.3	—	—	38.5
(5) 人生百年時代を見据えた健康づくり			C			40	シルバーリハビリ体操指導士養成数(経年累計)	人	6,685	8,312	—	8,788	—	9,208	53.1%	B	11,000 (2020)
				41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性:25.5 女性:9.7	男性:25.3 女性:9.7 (2015)	男性:41 女性:43	男性:25.6 女性:10.0 (2016)	男性:41 女性:43	男性:24.9 女性:9.5 (2016)	男性:△75% 女性:△150%	C	男性:22.8 女性:8.7		
8 障害のある人も暮らしやすい社会																	
(1) 特別支援教育等の充実	 成果をあげつつある	2.0	A	42	障害児に対する個別の教育支援計画の作成率(公立幼稚園)	%	69.0	66.7	32	74.2	*国方針変更により公表されず	70.3	208.3%	A	81.1		
(2) 障害者の自立と社会参加の促進			C		43	精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数	人	4,464	3,905	—	3,898	—	3,709	3.6%	C	3,177 (2020)	
(3) 障害者の就労機会の拡大			C		44	就労継続支援B型事業所における月額平均工賃	円	11,465	13,198	45	— (未公表)		13,770	—	—	15,480	
					45	民間企業における障害者雇用率	%	1.75	1.97	32	2.07	32	2.20	43.5%	C	2.30	
9 安心して暮らせる社会																	
(1) 地域公共交通の維持確保	 順調である	3.1	A	46	コミュニティ交通の利用者数	万人	295	308 (2016)	—	321	—	318	130%	A	323		
(2) 治安対策の強化			A		47	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	40.7 (2016)	42.7	—	48.6	—	44.0	454%	A	50.0以上	
(3) 交通安全対策の推進			B+		48	交通事故死者数	人	132	143	38	122	38	120以下	91.3%	B+	120以下	
(4) 消費生活と食の安全確保			A		49	食に対する不安を感じない県民の割合	%	39.0 (2013)	39.9	—	50.5	—	42.5	407.7%	A	50.0以上	
					50	市町村消費生活センター等における消費生活相談の受付割合	%	75.1	79.4	7	80.7	未公表	81.7	56.5%	B	85.0	
(5) 地域の力を高めるコミュニティづくり			C		51	NPO法人認証件数(経年累計)	件	751	838	46 (10万人あたり)	840	46	874	5.6%	C	983	
(6) 犬猫殺処分ゼロの実現			A		52	犬猫の殺処分数	頭	3,969	713	20	446	未公表	630	322%	A	0* (360以下)	
(7) 安心して安全な上下水道の整備	B		53	水道普及率	%	93.6 (2013)	94.4 (2016)	36	94.6 (2017)	36	95.8 (2017)	14%	C	100.0			
			54	汚水処理人口普及率	%	81.5	84.0	31	84.8	31	84.9	89%	B+	87.4			
10 災害に強い県土																	
(1) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	 成果をあげつつある	2.3	C	55	自主防災組織の活動カバー率	%	72.3	80.8	34	83.3	33	87.8	35.7%	C	90.0		
				56	消防団員数の充足率	%	92.5	91.6	31	90.4	36	92.6	△ 120%	C	94.0		
A				57	市町村のBCP策定率	%	—	56.8	27	100	1	72.7	272%	A	100.0		
A			58	公共施設等の個別施設計画(長寿命化計画)策定割合	%	34.6	53.8	—	53.8	—	69.2	0%	C	100.0			
			59	河川改修率	%	57.5	57.6	—	57.7	—	57.7	100%	A	58.2			
60			土砂災害防止施設の整備率	%	23.6	24.1	—	24.2	—	24.2	100%	A	24.5				
(5) 原子力安全対策の徹底	C		61	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ(原子力安全協定に基づくもの)	件	6	1	—	4	—	0	△ 300%	C	0			
(6) 危機管理体制の充実	B+		62	市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率	%	50.0	61.4	—	70.5	—	72.7	80.5%	B+	100.0			

※2018年度の実績数値は、概ね2019年8月までに公表された数値を揭示

Ⅲ. 新しい人財育成	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	過去値		現状値			実績(2018)				目標値
	区分	指標平均値					2014	2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	指標評価	2021		
															2014	2017
11 次世代を担う「人財」																
 取組の強化が求められる	1.6	C	63	国語の授業の理解度（中学生）	%	75.2	78.4	9	— (次回公表は2019年実績)		79.2	—	—	81.4		
			64	体力テストにおける段階別総合評価上位2段階(A+B)の割合	%	55.0	57.0	—	57.3	—	58.3	23.1%	C	60.8		
			65	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	組	—	2	—	1	—	3	△ 100%	C	5		
															66	職場体験活動を3日以上実施した学校数の割合
			67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	—	— (2018年は準備のみ。2019年から実施)		—	—	—	—	100	
									68	小中義務教育学校における不登校児童生徒数の出現率						%
			69	市町村における保幼小の接続の状況	%	11.4	22.7 (2016)	全国平均 (24.8)	61.4	※国方針変更により実施されず	51.4	135%	A	94.3		
			70	放課後子供教室実施小学校区数の割合	%	58.6	66.4	—	68.1	—	80.0	12.5%	C	100.0		
71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	2,365	3,777	—	4,012	—	4,170	59.8%	B	5,280					
												72	若者活動応援サイトへの会員登録者数（経年累計）	人	—	517 (過去3年の累計)
12 魅力ある教育環境																
 順調である	3.3	A	73	中学校における1校あたりの電子黒板の設置台数	台	2.5	2.8 (2016)	22	3.0 (2017)	※国方針変更により実施されず	3.0 (2017)	100%	A	5.0		
			74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	—	48.9 (2016)	—	— (次回公表は2019年実績)		—	—	—	90.0		
									75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率					%	91.4
			76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）	%	75.2	77.0	17	79.2	10	78.3	169.2%	A	82.2		
77	県内大学等との連携・協働事業数	件	71	69	—	77	—	71	400%	A	72					
13 日本一、子どもを産み育てやすい県																
 成果をあげつつある	2.2	A	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	65.3	82.1	28 (2016)	85.3	未公表	82.5	800%	A	84.0		
			79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計）	組	1,366	1,930	—	2,081	—	2,280	43.1%	C	2,500 (2019)		
		B	80	地域子育て支援拠点数	施設	245	255 (2016)	—	266	—	276	52.4%	B	280 (2019)		
		C	81	保育所等の待機児童数	人	227	386	36	345	未公表	172	19.2%	C	0		
		A	82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	—	12	—	14	—	14	100%	A	44		
		C	83	小中義務教育学校における不登校児童生徒数の出現率（再掲）	%	1.21	1.39 (2016)	35	1.48 (2017)	30	1.38 (2017)	△ 900%	C	1.30		
C	84	母子家庭等就業・自立支援センターの職業紹介による就職件数	件/年	4	17	—	21	—	32	26.7%	C	40 (2019)				
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城																
 成果をあげつつある	2.5	C	85	図書貸出冊数（県民1人あたり）	冊	5.5	5.4 (2016)	20	5.4 (2017)	17	5.5 (2017)	0%	C	5.9		
			C	86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	2,354 (2015)	2,357	—	2,342	—	2,392	△ 42.9%	C	2,495	
			A	87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	39.6	34.7 (2016)	—	47.4	—	47.3	101%	A	60.7	
			A	88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m ² /人	9.38	9.56 (2016)	36	9.65 (2017)	36	9.65 (2017)	100%	A	10.00	
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会																
 順調である	4.0	A	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計）	人	110	520	—	668	—	500	143%	A	800		
			-	90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	84.7	90.6 (2016)	—	— (次回公表は2020年実績)		93.0	—	—	95.0	
		-	91	いじめの解消率	%	90.6	86.9 (2016)	36	88.6 (2017)	17	88.0 (2017)	155%	A	92.2		
		A	92	いじめの解消率	%	90.6	86.9 (2016)	36	88.6 (2017)	17	88.0 (2017)	155%	A	92.2		

※2018年度の実績数値は、概ね2019年8月までに公表された数値を掲示

IV. 新しい夢・希望	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	過去値 2014	現状値		実績(2018)				目標値 2021		
	区分	指標平均値						2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	指標評価			
16 魅力度No.1プロジェクト																
(1) 魅力発信国内戦略	 順調である	3.0	A	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	—	71	—	113	—	85	300%	A	140	
(2) 魅力発信グローバル戦略			A	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	94,070	230,690	35	254,190	36	236,000	443%	A	389,900	
(3) 積極的なトップセールス			B+	94	県産品の県内認知度	%	—	—	—	37.9	—	40	95%	B+	50	
(4) 県民総「茨城大好き！」計画			C	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	85.1 (2014～16年) ※平均値	83.3	—	80.0	—	84.0	△ 471%	C	90.0	
17 世界に飛躍する茨城へ																
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI	 成果をあげつつある	2.3	A	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	—	38	—	70	—	50	267%	A	50	
(2) 活発なグローバル交流			C	97	つくば地区における国際会議の開催件数	件/年	51	50 (2016)	13	47 (2017)	14	68 (2017)	△ 17%	C	120	
(3) 茨城シリコンバレー構想			B	98	ベンチャー創業数(経年累計)(再掲)	社	371	436	—	463	—	475	69%	B	570	
18 ビジツ茨城 ～新観光創生～																
(1) 旺盛なインバウンドの取込み	 成果をあげつつある	2.0	A	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	341	2,721	—	3,442	—	3,000	258%	A	3,370	
				100	茨城空港の旅客数	千人	538	681	39位/ 85空港	760	38位/87空港	765	94%	B+	944	
(2) 新たな観光資源の発掘			C	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	5,075	6,128	12位/ 35都道府県	6,184	3位/ 14都道府県	7,190	5%	C	8,450	
(3) 新茨城リゾート構想			C	102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	462	512	17位/ 35都道府県	495	9位/ 14都道府県	673	△ 11%	C	876	
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功																
(1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興	 順調である	3.4	B	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	31	23	23	16	16	9	50%	B	1 (2019)	
(2) 県民総参加の機運醸成			A	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	—	6,428	—	延べ 5,200 (2019)	124%	A	延べ5,200 (2019)	
(3) 成功に導く環境整備			B+	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,200 (2020)
(4) 大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信			A	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	—	346	—	100 (2019)	346%	A	100 (2019)	
(5) スポーツを活用した地域振興			A	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	—	9	6	12	5	10	300%	A	10 (2020)	
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち																
(1) 未来の交通ネットワークの整備	 順調である	3.0	A	108	県管理道路の改良率	%	74.7	75.7 (2016)	20	76.2 (2017)	21	75.8	500%	A	76.3	
(2) 空と海のゲートウェイ機能の強化			C	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千トン	90,889	94,350	—	93,690	—	96,600	△ 29.3%	C	103,200	
				110	茨城空港の旅客数(再掲)	千人	538	681	39位/85空港	760	38位/87空港	765	94%	B+	944	
(3) 人にやさしいまちづくり			B+	111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	0	2	—	6	—	10	50%	B	24	
				112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	56.2	63.1	—	67.1	—	66.7	111%	A	74.3	
(4) 魅力あるまちづくり	A	113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m ² /人	9.38	9.56 (2016)	36	9.65 (2017)	36	9.65 (2017)	100%	A	10.00			

※2018年度の実績数値は、概ね2019年8月までに公表された数値を掲示

チャレンジ指標の進捗状況について

()は全国順位等を表す

4つのチャレンジ	No	指標名	単位	現状値 2017		2018	進捗 状況	備考	目標値 2021
I 新しい豊かさ	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	10 [2015]	期待値	9位以内	➡	・1人あたり県民所得は増加したものの、全国的にも増加 ※1人あたり県民所得[2015]3,104千円→[2016]3,116千円(+0.4%) " 国民所得[2015]3,069千円→[2016]3,082千円(+0.4%)	8位以内
				※平成27年度 県民経済計算公表時	実績	10[2016]			
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,415 [2016]	期待値	3,000[2017]	➡	・観光消費額の減による新規雇用者誘発数の減(経済波及効果として算出) ※観光消費額 [2016]2,731億円→[2017]2,628億円(△103億円) 新規雇用者誘発数[2016]301人 →[2017]—人 -「雇用創出数」の構成内訳- ・企業誘致による雇用者増加数 ・起業による雇用増加数 ・観光消費額増に伴う雇用創出効果 ・新規就農者	12,000
③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	373 [2016] (9)	期待値	319[2017]	↗	・生産農業所得(総額)は減少したものの、販売農家数も減少したため、一戸あたりでは増 ※生産農業所得(総額) : 2,022億円[2016]→1,991億円[2017](△31億円) 販売農家数[注] : 54.2千戸[2016]→53.2千戸[2017](△1千戸) [注]経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における販売金額が50万円以上の農家	500	
				実績	374[2017] (11)				
II 新しい安心安全	④	医師数	人	5,513 [2016] (46)	期待値	5,745	↘	・2年毎公表(次回,2019年12月頃公表予定) ※「最優先で取り組む医療機関・診療科」の必要医師 → [2019.9]7人確保 (目標:2020.9までに5病院16人)	6,160
				実績	—				
	⑤	健康寿命	年	男:72.50 [2016] (9)	期待値	—	↘	・3年毎公表(次回,2021年3月頃公表予定)	72.92
				女:75.52 [2016] (8)	期待値	—			
⑤	健康寿命	年	女:75.52 [2016] (8)	実績	—				
				期待値	—				
III 新しい人材育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.8 (11)	期待値	79.5	➡	・全国学力・学習状況調査の該当質問文の変更※による全国平均の減 [2017]74.9%→[2018]73.8%(△1.1ポイント) ※学習指導要領の改訂(「主体的・対話的で深い学び」の重視等)に伴い、 課題解決に向けた姿勢が強調(「課題に対して」→「課題解決に向け」) →質問文に対する生徒の受け止め方が慎重になったもの	81.4
				実績	77.2(12)				
	⑦	生徒の英語力 英検取得(中学:3級, 高校:準2級)又は 相当程度を有すると 思われる生徒の割合	%	中学:43.3 (9)	期待値	48.6	➡	・英検3級取得生徒の割合は増加したものの、教員が「相当程度を有する」と評価する生徒の減 ※英検3級取得生徒 [2017]25.9%→[2018]27.9%(+2ポイント) " 相当程度を有する生徒[2017]17.4%→[2018]13.7%(△3.7ポイント) [2019]英語力を客観的に測定する共通尺度となるテストを導入	60.4
					実績	41.6(17)			
				高校:36.2 (35)	期待値	43.1	➡	・教員の英語力強化を受けて、生徒の英語力も向上 ※本県英語教員の英検準一級等取得割合[2017]62.0%→[2018]73.2% (全国平均) [2017]65.0%→[2018]68.2%	58.0
					実績	41.1(18)			
⑧	県民が希望する子どもの数と 実際の子どもの数の差	人	0.45	期待値	現状より改善	➡	・差は広がったものの、希望する数・実際の数ともに増加 ※県民が希望する子どもの数 [2017]2.49人→[2018]2.51人(+0.02) 実際の子どもの数(予定含む)[2017]2.04人→[2018]2.05人(+0.01)	現状より改善	
				実績	0.46				
IV 新しい夢・希望	⑨	成長期待度	%	—	期待値	最高値の更新	↘	・初回調査(2019年3月公表) ※県政世論調査において設問設定し、調査	最高値の更新
					実績	61.1			
	⑩	観光消費額	億円	2,628 (15/35 都道府県)	期待値	3,215	➡	・全体の入込客数は増えたものの、単価の高い宿泊観光者数が減少 ※入込客数[2017]39,554千人→[2018]40,409千人(+855千人) 宿泊客数[2017]5,116千人→[2018]4,952千人(△164千人) ・全国的にも旅行消費額が減少[2017]21.1兆円→[2018]20.5兆円(△3%)	3,950
⑪	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	78 (暫定値)	期待値	85	↗	・アジアを中心に、水産物(冷凍サバ、冷凍イワシほか)や 加工食品(酒類、菓子類、調味料、乳製品、納豆ほか)の輸出が増加 ※水産物輸出額 [2017]63億円→[2018]67億円(+4億円) 加工食品輸出額[2017]14億円→[2018]16億円(+2億円)	104	
				実績	100				

(凡例) 進捗状況について ↗ : 期待値より進捗 ↘ : 現状値より進捗 ➡ : 横ばい ➡ : 現状値より悪化

20政策の進捗状況及び今後の方向性について

I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
1 質の高い雇用の創出	 順調である	<p>☆「成長分野等の企業誘致」や「工業団地への企業立地」については、期待どおりの成果をあげており、さらに誘致を進めるためには、補助金等の優遇制度の継続に加え、優良で廉価なオフィスの供給促進や外資系企業における本県認知度向上などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数 455人 (期待値 256人) ■本社機能等の移転等を伴う新規立地件数 50件 (期待値 28件) ■工場の立地件数(電気業を除く) 67件 (期待値 50件)</p> <p>☆「産業を支える人材の育成・確保」についても、概ね順調に進捗しており、今後とも高度IT人材の育成強化や外国人材支援センターの運営を通じた外国人材の活用などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■産業技術短期大学校生の基本情報技術者試験合格者数 344人 (期待値 345人)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <p>■産業技術短期大学校就職者数：34人(13年連続就職率100%達成) ■産業技術専門学院就職者数：153人(就職率99.4%,前年度比+1.4%) ■大卒等いばらき就職面接会：内定者86人(+10人) ■県北地域へのクリエイター、クリエイティブ企業等の進出支援：17事業者(H27からのシェアオフィス等への進出事業者数)</p>
2 新産業育成・中小企業等の成長支援	 成果をあげつつある	<p>☆新しい産業集積づくりに向けて「産学官連携による新製品等開発の取組」については、期待どおりの成果をあげており、今後とも県内中小企業と研究機関等との交流促進や技術提案の場づくりなどに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■産学官連携による新製品等開発件数(経年累計) 80件 (期待値 76件)</p> <p>★「創業支援」については引き続き強力な取組が求められ、総合相談窓口における相談支援やセミナーの開催による女性の創業支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県内事業所の開業率[2017] 5.9% → [2018] 4.7%(△1.2ポイント)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <p>■創業支援 ・総合相談窓口での相談対応：1,261人利用(+85人) ・女性向け起業セミナーの開催：21回, 23人受講(+5人) ・学生ビジネスプランコンテストの開催：1回, 39件応募(+9件) ■事業承継支援・茨城県事業承継支援ネットワークの設置(H30.5)・支援者向け研修会：1回(初開催), 68名受講 ・経営者向けセミナー：1回(初開催), 102名受講</p>
3 強い農林水産業	 取組の強化が求められる	<p>★農業の成長産業化に向けて、「農地の集積・集約化」については引き続き強力な取組が求められ、茨城モデル水稲メガファーム育成によるノウハウの波及や中間管理機構の更なる活用などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■担い手への農地集積率[2017] 32.8% → [2018] 34.2%(+1.4ポイント改善するも、期待値[38.3%]には未到達)</p> <p>★「県食材の国内外への販路拡大」の取組について、東京都中央卸売市場における県産青果物シェアは、引き続き全国1位となったものの期待値には届かなかった。今後は、儲かる農業の実現に向け、単価向上を図るとともに、農業者自らが価格を設定できる市場外の販路拡大に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■東京都中央卸売市場における県産青果物シェア[2017] 10.6% → [2018] 10.0%(△0.6ポイント)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <p>■農地の集積・集約化 ・地域集積協力金活用地区の掘り起こし：40市町村, 246地区(H26~H30) ・茨城モデル水稲メガファーム育成事業【新規】：5地区 ・農地利用実態調査【新規】：33市町村で着手(うち3市町村終了) ■六次産業化・地産地消に基づく総合化事業計画策定支援：新規2件, 累計54件(H23~H30) ■民有林の森林経営集約化計画認定【新規】：6,625ha(初年度計画の2倍強) ■担い手育成 新規就農支援：雇用就農者163人(+18人) 農業参入等支援センターによる支援【新規】：法人化9件, 企業参入3件 ■漁業産出額[2017]：228億円(+41億円) ■イノシシ捕獲新技術の実証【新規】：5カ所 ■多面的機能支払交付金取組面積：34,000ha(+1,000ha)</p>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

Ⅰ 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 2/2

政策名	進捗状況	分析・対応
4 多様な働き方	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「移住・二地域居住の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後も東京圏との近接性を活かし、高いスキルを持つ人材の誘致や、市町村・民間団体との連携強化などにより関係人口の創出に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数 14,886人 (期待値 14,770人)</p> <p>★中小企業における「ワーク・ライフ・バランスの実現」については、有給休暇の取得促進や所定外労働時間の削減について引き続き強力な取組が求められ、今後も働き方改革推進協議会の協議結果などを元に、企業へのアプローチ方法を検討し、取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県内中小企業における年次有給休暇取得率[2016]53.97%→[2017] 52.68%(△1.29ポイント) ■県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数[2017]12.8時間→[2018] 12.7時間(△0.1時間改善するも、期待値[10.4時間]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■働き方改革・生産性向上個別企業コンサルティングによる目標値達成企業数：5社 (コンサルティング実施企業全5社が達成) ■「いばらき女性活躍推進会議」会員企業数：565社 (+128社)、茨城県女性が輝く優良企業の認定・表彰：延べ15社 (+4社) ■大学内就職相談会等への参加：67校, 984名 (+9校, △5名) ■就職支援奨学金助成制度【新規】申請件数：31名 ■茨城県奨学資金(大学生等)貸与者数：317名
5 かけがえのない自然環境の保全・再生	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>★「湖沼の水質浄化～泳げる霞ヶ浦を目指して～」の取組については、引き続き強力な取組が求められ、今後も高度処理型合併浄化槽の設置支援や下水道・農業集落排水施設への接続支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■霞ヶ浦におえるCOD濃度(平均値) [2017]7.4mg/L→[2018] 7.3mg/L(目標値(2020)7.4mg/L) ■霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数 [2017]1,219県/年 → [2018] 1,276件/年(+57件改善するも期待値[1,531件/年]には未到達)</p> <p>★「循環型社会づくり」については、引き続き強力な取組が求められ、ごみ排出抑制に関する県民意識の啓発や、事業者や団体と連携した3R(リデュース(排出抑制), リユース(再使用), リサイクル(再生利用))の推進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■1人1日あたりのごみ排出量[2016]983g → [2017] 985g(+2g)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■霞ヶ浦等の水質浄化 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道・農業集落排水施設の接続支援補助件数：1,063件(制度拡充により+約2.8倍) ・霞ヶ浦流域における高度処理型浄化槽設置補助件数：1,276基 (+57基) ・小規模事業所立入検査件数：940件 (+620件) ■不法投棄の監視強化：不法投棄事案 101事案解決 ■廃棄物処理法違反事件の検挙：135件 (+59件)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
6 県民の命を守る地域医療・福祉	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「介護人材の確保」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも、超高齢社会の急速な進行を踏まえ、外国人やシニア層など多様な人材の参入促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■介護職員数[2016] 34,959人 → [2017] 36,866人(+1,907人)</p> <p>★「医師不足対策」については引き続き強力な取組が求められ、特に早急な対応が必要な医療機関における医師確保などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■「最優先で取り組む医療機関・診療科」の必要医師 → [2019.9]7人確保(目標:2020.9までに5病院16人)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■看護師等修学資金貸付: 新規112名 ■ドクターヘリの運航: 出動850件(+122件), 他県連携442件(+76件) ■遠隔医療の推進 画像診断補助システム導入【新規】: 県北地域8箇所 ■がん対策 ・がん検診推進のための活動をする予防推進員の養成: 8,350名(+196名) ・ウィッグの購入費助成【新規】: 313件 ・乳房補正具購入費補助【新規】: 66件 ■自殺予防ゲートキーパー養成研修: 48回(+7回)
7 健康長寿日本一	 <p>順調である</p>	<p>☆「在宅医療・介護の支援」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも医療機関の連携(グループ化)などにより、在宅医療の提供体制の構築などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■訪問診療を実施している診療所・病院数[2015] 360箇所 → [2016] 381箇所(+21箇所)</p> <p>☆「認知症対策の強化」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも認知症への理解促進・見守り支援や、認知症に係る相談支援体制、医療・介護体制の構築などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■認知症サポーター養成人数(累計)[2017] 201,567人 → [2018] 238,828人(+37,261人)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療に取り組む医療機関の連携 22グループ(+10グループ)・110医療機関(+47医療機関) ■在宅訪問を実施している薬局数 451箇所(+56箇所) ■多職種参画による地域ケア会議開催市町村数 26市町(+13市町) ■シルバーリハビリ体操指導士養成数 8,788人(+476人)
8 障害のある人も暮らしやすい社会	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「特別支援教育等の充実」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも特別支援教育巡回相談の実施や障害児の受入施設の拡充などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■障害児に対する個別の教育支援計画作成率(公立幼稚園)[2017] 66.7% → [2018] 74.2%(+7.5ポイント)</p> <p>★「障害者の就労機会の拡大」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも共同受発注センターにおける企業訪問や農福連携に係る周知啓発などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■民間企業における障害者雇用率[2017]1.97%→[2018] 2.07%(+0.1ポイント改善するも、期待値[2.20%]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■幼児教育施設、小・中学校、高等学校等への支援 ・特別支援学校の教員による巡回相談: 8,971件(+1,509件) ・大学教授等の専門家の派遣: 901回(+41回) ■精神病床に長期在院(1年以上)する精神障害者数: 3,898人(△7人) ■発達障害者支援センター: 県南に2ヶ所目のセンターを新設 ■医療的ケア児等の受入れに必要な機器等の整備費用助成: 新規開設5事業所 ■障害者委託職業訓練就職率: 66.7%(全国52.2%)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ 2/2

政策名	進捗状況	分析・対応
9 安心して暮らせる社会	 順調である	<p>☆「治安対策の強化」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも二セ電話詐欺やサイバー犯罪など複雑化・多様化する警察事象に適切に対応していく。</p> <p>【主要指標等】 ■住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合[2017] 42.7% → [2018] 48.6%(+5.9ポイント)</p> <p>☆「食の安全確保」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、ホームページやSNS等により食に関する正確な情報の効果的・効率的な発信などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■食に対する不安を感じない県民の割合[2017] 39.9% → [2018] 50.5%(+10.6ポイント)</p> <p>その他主な取組成果（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティ交通（コミュニティバス・乗合タクシー）の利用者数：321万人(+5万人) ■市町村消費生活センター等における消費生活相談の受付割合：80.7%(+1.3ポイント) ■交通事故者数：122人(△21人) ■NPO法人認証件数（経年累計）：840件(+2件) ■水道普及率[2017]：94.6%(+0.2ポイント) ■汚水処理人口普及率：84.8%(+0.8ポイント)
10 災害に強い県土	 成果をあげつつある	<p>☆「災害に備えた体制づくり」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも実効性ある業務継続体制の確保や避難勧告等の発令基準の統一などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■市町村のBCP策定率[2017] 56.8% → [2018] 100%(+43.2ポイント)</p> <p>★「地域の防災活動への支援・充実」の取組については引き続き強力な取組が求められ、自主防災組織の活動カバー率向上に向けて市町村が抱える個々の課題に応じた解決策の提案や、消防団員の加入促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■自主防災組織の活動カバー率[2017] 80.8% → [2018] 83.3%(+2.5ポイント改善するも、期待値[87.8%]には未到達) ■消防団員数の充足率[2017] 91.6% → [2018] 90.4%(△1.2ポイント)</p> <p>その他主な取組成果（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河川改修率 57.7%(+0.1ポイント) ■土砂災害防止施設の整備率 24.2%(+0.1ポイント) ■市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率 70.5%(+9.1ポイント)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

III 「新しい人財育成」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
11 次世代を担う「人財」	 <p>取組の強化が求められる</p>	<p>★「『知・徳・体』バランスのとれた教育の推進」については引き続き強力な取組が求められ、教職員の研修の充実や子供の体力向上支援事業の推進のほか、競技力の向上などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■体カテストにおける段階別総合評価上位2段階（A+B）の割合[2017] 57.0% → [2018] 57.3%(+0.3ポイント改善するも、期待値[58.3%]には未到達)</p> <p>★「キャリア教育による将来の目標づくり」の取組についても引き続き強力な取組が求められ、アントレプレナーシップ（起業家精神）の育成やキャリアノートの活用などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■職場体験活動を3日以上実施した学校数の割合[2017] 75.8% → [2018] 71.2%(△4.6ポイント)</p> <p>その他主な取組成果（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■デュアルシステム実施校数・参加人数：14校、246人（+5人） ■ジュニア技能インターンシップの実施：18校、173人（+2校、+69人） ■次世代グローバルリーダーの育成【新規】 ・英語力の高い中高生40人 ■学校等に外国人講師等を派遣するワールドキャラバンの開催 93回（+8回） ■プログラミングエキスパートの育成【新規】 ・中高生トップ層育成研修参加者：38人 ・基礎学習支援参加者：7,179人 ■IBARAKI ドリーム・パス事業【新規】（大学生等の指導者養成、モデル校1校での取組開始） ■ワンストップ就職支援サービス：就職決定1,194人（利用者21,808人） ■いばらきっ子郷土検定参加者数：約24,000人（中学2年生） ■訪問型家庭教育支援の実施：12市町村（+5市町村）
12 魅力ある教育環境	 <p>順調である</p>	<p>☆「時代の変化に対応した学校づくり」については期待どおりの成果をあげており、今後ともキャリアステージに応じた教員研修や中高一貫教育校における特色ある教育などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合 [2017] 77.0% → [2018] 79.2%(+2.2ポイント)</p> <p>その他主な取組成果（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■県立学校コンピューター整備台数 ・高校98校、11,191台（+126台、5.1人/台） ・特別支援学校22校、1,066台（+56台、3.6人/台） ・普通教室LAN整備室100%（120校） ■中高一貫教育校設置：2022年度までに10校（県立高等学校改革プランH31.2策定） ■県内5大学等連携（いばらき創業10,000社プロジェクト） ・ビジネスプランコンテスト1回 ・起業セミナー21回
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも妊娠期から子育て期における支援体制づくりや、若い世代のニーズに対応した結婚支援事業の充実などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■妊娠・出産について満足している者の割合 [2017] 82.1% → [2018] 85.3%(+3.1ポイント)</p> <p>★「待機児童ゼロへの挑戦」の取組については引き続き強力な取組が求められ、待機児童増加地域における保育所等整備や、低年齢児の受け皿確保に向けた小規模保育・家庭的保育を促進するとともに、保育人材の確保などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■保育所等の待機児童数 [2017] 386人 → [2018] 345人(41人減だが、期待値[172人]を依然上回る水準)</p> <p>その他主な取組成果（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いばらき出会いサポートセンターの運営 ・県民からの結婚相談552人（+74人） ・成婚133組（+5組） ■放課後児童クラブ数：961箇所（+72箇所） ■放課後児童支援員資格認定研修：2,409人（+752人） ■地域子育て支援拠点：266施設（+10施設） ■病児対応型、病後児対応型施設：63施設（+6施設） ■認定こども園数：215施設（+17施設） ■小児マル福の拡充：H30.10より中3→高3へ対象者の拡大（入院のみ）

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

III 「新しい人財育成」へのチャレンジ 2/2

政策名	進捗状況	分析・対応
<p>14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「『する・見る・支える』スポーツの支援」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも総合型地域スポーツクラブの育成・定着や生涯スポーツ指導員などの人材養成などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■成人の週1回以上のスポーツ実施率 [2016] 34.7% → [2018] 47.4%(+12.7ポイント)</p> <p>★「心豊かにする文化・芸術」については、文化の鑑賞機会への県民の参加拡大に向けて引き続き強力な取組が求められ、県近代美術館など県立施設の魅力向上や誘客促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数 [2017] 2,357千人 → [2018] 2,342千人(△15千人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■県民文化センター ・利用者数 609,734人(+12,112人) ■総合型地域スポーツクラブ ・クラブ設置率：84.1% ・クラブ数：51(+1クラブ) ■生涯スポーツ指導員認定者数：55名(+25名) ■スポーツリーダーバンク登録者数：39名(+20名) ■県内におけるeスポーツ大会開催【新規】 ・主催：2回 ・開催支援：5回 </div>
<p>15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆「誰もが能力を發揮できる社会づくり」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも多文化共生に向けた外国人相談の充実や、男女共同参画社会の実現などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数 668人(期待値500人)</p> <p>☆「いじめを生まない社会づくり」の取組についても期待どおりの成果をあげている。組織的な対応によりいじめの認知件数は増加しており、今後ともいじめの予防教育や相談体制の充実を図るとともに、早期かつ適切な対応のため、市町村との連携強化などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■いじめの解消率 [2016] 86.9% → [2017] 88.6%(+1.7ポイント)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>その他主な取組成果(2018年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外国人相談センターでの相談件数：1,220件(日本語を含む10言語で対応) ■日本語教育アドバイザー派遣による地域日本語教室のボランティア養成講座の実施：登録アドバイザー18名・派遣先8団体、講座参加者206名 ■スクールカウンセラー：全公立小中学校配置 ■スクールソーシャルワーカー派遣：小中学校78校、537回(+10校,+107回) ■いじめ・体罰解消サポートセンター相談件数：117件(+1件) ■性的マイノリティへの支援に係る男女共同参画推進条例の改正(H31.3) ■人権相談：64件(+14件) ■ヒューマンライツセミナー：97人受講(+37人) ■人権教育指導者研修会：3回、185人受講(+42人) </div>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
16 魅力度 No.1 プロジェクト	 順調である	<p>☆「魅力発信国内戦略」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも県外に向けたパブリシティ活動を通じて、季節・旬に応じた本県の観光資源（絶景・食など）や特産品などの情報発信に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■本県情報のメディアへの掲載による広告換算額[2017] 71 億円 → [2018] 113 億円(+42 億円)</p> <p>☆「魅力発信グローバル戦略」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも現地セールスを通じた外国人観光客の誘致や、県産品の輸出拡大などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■外国人延べ宿泊者数[2017] 230,690 人 → [2018] 254,190 人(+23,500 人)</p> <p>その他主な取組成果（2018 年度） ■メロン・常陸牛等の知事トップセールス（米国[ニューヨーク]・首都圏[銀座三越] など） ■いばキラTV 動画視聴回数：3,893 万回(+1,240 万回) ■茨城県公式 Twitter のフォロワー数：122,550 人(+6,500 人) ■県政世論調査による広報媒体の中の「ひばり」の接触率：72.2%</p>
17 世界に飛躍する茨城へ	 成果をあげつつある	<p>☆「世界に広がるメイドインIBARAKI」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも売込重点国への営業専門スタッフの配置や品目を重点化したプロモーションなどに取り組むとともに、海外展開に意欲的な新たな事業者の掘り起こし・啓発に努める。</p> <p>【主要指標等】 ■県の支援により成約した輸出商談件数[2017] 38 件 → [2018] 70 件(期待値 50 件)</p> <p>★「活発なグローバル交流」については引き続き強力な取組が求められ、国際会議等の誘致や研究機関等への営業強化・MICE 案件の把握などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■つくば地区における国際会議の開催件数[2016] 50 件 → [2017] 47 件(△3 件)</p> <p>その他主な取組成果（2018 年度） ■東南アジア等での青果物のプロモーション事業の取組強化：4 カ国（前年度 2 カ国） ■米国における常陸牛のプロモーション実施【新規】：商談会 4 回、茨城フェア開催 1 回 ■農産物の輸出額：546 百万円(+171%) ■MICE 誘致推進協議会（H30.6 設立）・誘致及び開催支援件数：19 件・各種商談会出席：商談 19 件・視察受入：延べ 3 回、8 名 ■ベンチャー創業数：27 社（過去 5 年間で最大） ■ベンチャー企業に対する賃料補助の創設：7 件活用</p>
18 ビジット茨城～新観光創生～	 成果をあげつつある	<p>☆「旺盛なインバウンドの取込み」については期待どおりの成果をあげており、今後とも旅行会社等への積極的な働きかけなどにより、外国人観光客の誘致や茨城空港への定期便の就航・チャーター便誘致、クルーズ船の誘致などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■海外からの観光ツアー催行数[2017] 2,721 ツアー → [2018] 3,442 ツアー(+721 ツアー)</p> <p>★「新茨城リゾート構想」の取組については引き続き強力な取組が求められ、宿泊施設の誘致活動の積極的な展開や既存宿泊施設の魅力向上など競争力の高い魅力ある観光地域づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■宿泊観光入込客数[2017] 512 万人 → [2018] 495 万人(△17 万人)</p> <p>その他主な取組成果（2018 年度） ■茨城空港旅客数：760 千人（+79 千人／過去最高数） ■定期便の新規就航：ソウル便、台北便 ■チャーター便の誘致：台北便(118 便)、ベトナム便(4 便)、国内線(60 便)（+107 便） ■外国クルーズ船の寄港決定 H31.4 に本県初寄港（その後も複数隻の寄港が決定） ■Zekkei フォトコンテスト：投稿数 1,492 件（+216 件） ■学生による観光プランコンテスト：応募件数 100 件（+91 件） ■本県のロケ支援：606 作品（+78 作品） ■ロケ地ツアー：2 件 135 名参加（+87 名） ■筑波山マルチアクセスマップ作成・配布【新規】：20 万部 ■ひたちなか大洗リゾート構想の策定（H31.3） ■つくば霞ヶ浦りんりんロード：利用者 8.1 万人（+1.5 倍） 広域レンタサイクル貸出：2,594 台</p>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。
 ※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ 2/2

政策名	進捗状況	分析・対応
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功	 順調である	<p>☆国体・障害者スポーツ大会の成功に向け、「県民総参加の機運醸成」や「大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信」について期待どおりの成果をあげるとともに、全国トップレベルの指導者招聘、優秀な選手の獲得などの取り組みを進めた。特に、本県の独自プログラムであるeスポーツ大会の開催を情報発信し、メディアでの取り上げを通じて、本県及び両大会の魅力発信・注目度向上につながった。</p> <p>【主要指標等】 ■運営ボランティア従事者数（国体）：6,428人（目標：延べ5,200人） ■第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数：346事業（目標：100事業）</p> <p>その他主な取組成果（2018年度） ■国体の成功 ・全国トップレベルの指導者招聘：22競技、延べ302回 ・優秀な選手の獲得：58名（+36名） ■eスポーツ大会の開催【新規】：主催2回、開催支援5回 ■eスポーツ大会のメディアでの取り上げ：テレビ19回、新聞54回、雑誌6回、ネット137回 ■オリンピック・パラリンピックの成功 ・茨城県都市ボランティア：857人登録（募集人数700人程度） ・事前キャンプ視察受け入れ：12件（ベルギー、スイス、アルゼンチン等）</p>
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち	 順調である	<p>☆「未来の交通ネットワークの整備」については期待どおりの成果をあげており、今後とも東関東道の未開通区間の開通・圏央道4車線化・スマートICの整備促進に向けた要望、県管理道路の整備などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県管理道路の改良率[2016] 75.7% → [2017] 76.2%（+0.5ポイント）</p> <p>☆「魅力あるまちづくり」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後もサイクリング環境の整備を図るとともに、プロスポーツや芸術、地域のもつ文化・歴史的資源あるいは恵まれた自然環境などを活かした地域づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■都市計画区域人口1人あたり都市公園面積[2016] 9.56㎡ → [2017] 9.65㎡（+0.09㎡）</p> <p>その他主な取組成果（2018年度） ■都市公園の整備：県営北浦川緑地0.2ha（H30.4）ほか3箇所（北茨城市、日立市、つくば市）計6.16ha ■外貿定期RORO航路の開設：1航路 ■常陸那珂港区：取扱貨物量（13,781千ト）、コンテナ貨物取扱量（32,178TEU）がともに過去最高 ■桜の郷整備：処分予定地の92.3%処分 ■カシマサッカースタジアムの計画的な修繕など観戦環境整備や、フィットネスクラブの運営など日常的な賑わい創出 ■プロスポーツ関連イベント等（優勝記念イベント開催など）への支援・協力：12回</p>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。